

OPU Students 海外留学レポート

Study Abroad Report from the OPU students



プロフィール (Profile)

氏名 小川 博己
所属 工学域 機械系学類
学年 3年

留学先 イギリス カンタベリー

留学期間 (study abroad period)
2019/2/16~2019/3/10

記入日 (Date) 2019/3/23

留学レポート Study Abroad Report



はじめに

イギリスの歴史的な街“カンタベリー”に3週間ほど留学に行ってきました。

まず、私が語学研修に行きたいと思った理由は、イギリスの文化、食事、生活などを体験してみたいと感じ、また日本を離れて、いろいろなことを考えてみたい、そしてある場所に行きたいと強く思ったからです。私は3回生という学年で研修に参加しましたが、普通に考えて3回生で留学に行くことは稀だと思います。実際、3回生は私一人のみで、ほとんどの学生が1回生、2回生の後輩たちでした。ですが、就職ではなく大学院進学を考えている私にとって、この4回生に進級する前の春期休暇は、自分のために充てられる最後の長期休暇だと考えていたので、私はこの長期休暇に留学することを決意しました。結論から言うと、この3週間は私にとって、かけがえのない、忘れることの出来ない大切な思い出となり、将来にも生きる経験をすることができました。この3週間で得た経験すべてを述べることは出来ませんが、今後イギリス語学研修を考える後輩たちの少しでも力になれるように抜粋して述べていこうと思います。



ホームステイ

ホームステイ先は語学学校から歩いて15分程のところで、とても静かなところでした。ホームステイ先には陽気なお母さんと寡黙ですがとてもやさしいお父さん、そして犬が住んでいました。また滞在中に2人のスペイン人留学生が1週間ほど滞在していました。朝と晩のごはんはこの子たちと一緒に食べました。食事のメニューとしては、朝ごはんはパンかシリアル&コーンフレークのどちらかで、晩ごはんは様々なものが出ました。ピザやパスタはもちろん、イギリスの主食といっても過言ではない、いも料理も頻繁に出ました。洗濯は週に1回で、火曜か水曜日でした。また私のホームステイ先では、晩ごはんは7時まで、お風呂(シャワー)は9時までという決まりがありました。起床時間は6時ごろ、就寝時間は9時半から10時という日本ではあまり考えられないくらい規則正しい生活をしました。



語学学校

主に朝は与えられた題材ごとに話し合ったり、その題材で頻繁に用いられる単語などについて学習しました。ディスカッションの時間も多く、自分から率先して英語を話す環境なので、とても充実していました。昼の授業は日本の中高で受ける英会話のような授業で、日本人が大半を占めていたので、日本の授業と雰囲気は大きく変わりませんでした。とても和気あいあいとしていて楽しい時間でした。また朝の授業のグループワークの大半で一緒だった韓国人の留学生とはいろいろなことを一緒に考えたり、たわいもないことを話したりなど、本当に仲良くしてもらいました。3週間という短い時間でしたが、とても充実した時間でした。



マンチェスター旅行

今回のイギリス語学留学で最も楽しみにしていたイベントのマンチェスター旅行。冒頭で述べたある場所とはマンチェスターのことです。私は幼いころからマンチェスターユナイテッドというイングランドのフットボールチームが大好きで、昨年の秋にもイギリスを訪れたのですが、そのときはスケジュールの都合上、マンチェスターに行くことを断念していたので、やっと大学生になって、幼いころから憧れたチームの試合、スタジアムを実際に見に行くことが出来るという非常に興奮した気持ちでいっぱいでした。実際にスタジアムを訪れてみると、言葉ではいい表せないくらいの感動した気持ちで、試合も今シーズンの中で5本の指に入るくらいの素晴らしい試合で勝利し、また試合後の選手の待ちでも3人の選手と監督からサインをいただくことが出来ました。本当に一生忘れることの出来ない思い出になりました。少し費用は値を張りましたが、イギリスで自分のしたいことが出来たので、本当に良かったです。



最後に

私にとってこの3週間という留学は本当に一瞬で、実際に英語力が極端に伸びたとはあまり感じてはいませんし、ペラペラになったわけでもありません。ひょっとすると、日本にいたときとそんなに変わっていないかもしれないです。でも一つだけ変わったと自信を持って言えることがあります。それは、英語に対する接し方です。日本にいたときは考えもしなかったのですが、この3週間を終えて、もっと英語を学びたい、もっと話せるようになりたい、外国人の友達を作りたい、将来海外で働いてみたい…

そう強く思うようになりました。そういうことから、まずは日本で英会話の授業を受けてみようかと考えています。また、イギリスに行って、とてもフラットな気持ちで自分の悩んでいることについて見つめ直すことができました。答えが一つに定まったわけではありませんが、自分について考える有意義な時間でした。そして、一緒に留学に行ったメンバーたちと仲良くなったことが本当に嬉しく、素晴らしい出会いであったと日本に帰ってから強く思いました。また語学学校で仲良くなった留学生たちとの出会いも私にとって大切な思い出です。

最後になりますが、この留学で私にとって忘れることのできない、かけがえのない思い出を作ることが出来、素晴らしい経験を作ることが出来ました。こういう機会を作っていたいただいた国際交流の方々、語学学校の日本人スタッフである鶴貝さんには本当に感謝しています。

3週間、ありがとうございました。